

令和元年度 長崎県立清峰高等学校学校関係者評価 報告

1 学校関係者評価委員

森山 政幸

溜 美恵子

森田久美子

中村 尚広

2 学校関係者評価の内容

- 学校評価を見て、毎年3年生が全体的に高評価なのは、進路目標が達成されたことが大きいと感じる。1年次からのサポート体制が、個々の能力や適性を醸成させたたまものだと思う。
- 昨年、学校生活満足度は低かった2年生も評価が上がっており、日頃の指導の成果だと思う。
- 部活動や学校行事について毎年高評価なのは、学校行事に取り組む姿勢など学校の良いところを、先輩から後輩に伝統として伝えている部分も大きいと思われる。
- 「相談しやすい体制」という項目は、生徒・保護者とも毎年評価が低い。友人関係・家庭問題などで悩んでいても表面化しにくい時期でもあるので、日常の観察や声かけなどで変化に気づき、相談相手になっていただきたい。
- 相談室と保健室が連結している方が自然な形で相談できるが、校舎の配置の都合上無理であるため、相談室の模様替え等により足を運びやすい空間作りを考えても良いのではないかと。
- 心の相談が少し多いように感じる。全ての生徒に完全な対応は厳しいとは思いますが、配慮をお願いしたい。
- 自転車通学のルールについて指導をお願いしたい。
- 携帯電話、インターネットについては保護者への啓発もお願いしたい。例えば、新入生説明会やPTA総会を利用なども検討して欲しい。
- 清峰らしさをアピールできる清峰音楽祭の中止は残念に思う。来年を楽しみにしている。